

【第六部の序章】

もうすでにヒラリズムなどに書いているが、小生のポロパソコンが小爆発して、大袈裟ではなく膨大な数の、拙作のデータが完全消滅してしまった。

三十年の間お世話になったのだから、ポロパソコンと云うのは邪険かも知れないし、結局じぶんがしでかしたことなので、文句はじぶんに云うしかないのだが、やっぱりご多分にもれず、自作はイノチと云うところがあって、しばらく失語症に陥ってしまった。

周りの人たちが、もう一度書けばいいじゃないかと励ましてくれても、三十年かけて書きためてきたものを再び文章にするには、これから三十年かかる勘定だし、気力体力が充実していた三十年と、老骨に鞭打つ三十年とでは、特に小生が

第一義としている文章そのものに、歴然たる差が出るはずである。

なんて、忸怩たる思いを述べていると、いつ終わるか知れやしない。

ともかくその完全消滅した拙作のなかに、『巨人荒野』の第六部もそっくり仲間入りをしているのだ。

そうして小生のアタマのなかには、もはや第七部の構想しかないのであるからして、数百枚の原稿の再現は相当に困難である。

よって小生は断腸の思いで、第六部は白紙にしてしまおうかと考えたのである。

けれどもきわめて少ないとは云え、読者がいるかぎりは、しかも将来の多数の読者を期待して書いてきたからには、せめて粗筋なりとも入れておかないと辻褄が合わない。

何よりも、じぶんの覚書として必要なのである。

ここに粗筋のみを記し、ご寛恕願って、それから第七部へ

と進んでいきたい。

【第六部の粗筋】

人類完全消滅に向けて、種々の大規模な画策を実施し、それらを悉く麻暮正作に妨げられてきた荒野大三郎は、次なる最大の画策として、数兆円とも云われるその資産を、AIの開発に注ぎはじめた。

具体的には、AIセックスロボットの大量製造である。

セックスロボットの利点は多く、両性具有で人間の老若男女を相手にでき、娼婦でも男娼でもないゆえに金銭とは無縁である。

加えていくらセックスしても妊娠する不安も、エイズや梅毒などの性病に罹る心配もない。

またこれは利点と云っていいのかどうか、麻葉にも似たその強烈な刺激により、セックスロボットと性交した者は、だ

れでも二度と人間相手に性交をする気にはなれない。

従ってセックスロボットが世界を席卷した暁には、人間にとってもはや新しい生命の誕生はあり得ないのである。

人工授精などで沢山のこどもたちが生まれても、いずれセックスロボットの餌食になる。

その繰り返しの結果、未来の人間の精囊や卵巣は退化してしまう。

むろん人間のコピーは造れるが、とうぜんコピーによるコピー化は次第に劣化する。

こうして人類は完全消滅する。

これが荒野大三郎の新しい画策であった。

そしてすでに湘南をテストケースとして、セックスロボットが徘徊しはじめていたのである。

息子の大介が死んだ蝶子は、傷心のために重い神経症に陥っているが、それでも荒野にとっては大切な恋女房である。

麻暮正作は蝶子を拉致することによって、まずは荒野の配

下軍団を誘い出し、軍団を壊滅させることによって荒野を孤立させ、孤立した荒野に決闘を申しこむことを決意する。

麻暮の一子麻子の面倒を見ている郷田狂介は、そんな麻暮の活動に不安を覚えつつも、すでにじぶんは探偵ではなく作家であると自得し、ただ見ているしかないことに忸怩たる思いでもある。

蝶子を誘い出し、取り返しにきた荒野の配下軍団を壊滅させた麻暮は、予定通り荒野に決闘状を送る。

心神喪失状態の蝶子を預かった鎌倉のギャバンは、もともと好意を持っていたが、身近にいることで蝶子に完全に惚れてしまい、それを察知した麻暮は、ギャバンと蝶子の身の安全のためにも、ふたり揃ってパリのマドレーヌとカトリーヌの元に行き、パリで探偵事務所を新たに開くことをギャバンに勧め、その資金も出してやる。

麻暮と荒野の決闘は、大雪の葉山海岸で開始された。一対一の決闘は、約六十年前の江の島灯台下の決闘以来である。

あのとくと違うのはお互い、鉄仮面と黄金仮面をつけていることと、同じ最新式の武器を携えていることである。

言葉もなく躊躇いもなく、両者はその武器を発射、お互い仮面の中央に弾丸が貫通、顔面にソフトボール大の穴が開いたまま、大雪のなかに倒れる。

郷田狂介と川上宙斎が駆けつけてきて、雪に埋もれた麻暮と荒野を救い出し、世界的な名医に、再生手術を依頼する。

もともと脳のほかは人造人間である、荒野の手術は平易であったが、超高齢で満身創痍で生身の、麻暮の手術は名医をもってしても簡単ではなく、その長時間の手術と、その難度な回復対応に、三か月を要することとなった。

その間、多数のセックスロボットは、湘南を完全制圧、横浜を経て東京都内に浸出しはじめるのであった。

(巨人荒野・第七部へ続く)

